



ロボット作りに励む生徒たち(京都市左京区・東山中)

子ども向けロボコン初開催

子どもに本格的な科学実験を指導している子ども理科離れなくす会(大津市)は二十九、三十の両日、小中学生対象の「スペースロボットコンテスト」を京都市左京区で初開催する。ロボ

理科離れなくす会

る。ロボットには光センは大会に向けたロボットサーキットとタッチセンサーがも製作。出場予定という必要で制限時間内の点数一年の篠原裕太君と南野を競う。個人あるいは二吉宏君は「自分で作った人一組で参加でき、二十ロボットで勝りたい」と九日に予選を京都大総合笑顔をみせていた。博物館(左京区)で、三会場では宇宙航空研究博物館(左京区)で、三会場では宇宙航空研究十日に本選を京都教育文開発機構の協力で、宇宙

ゲーム感覚で参加呼び掛け 賞し出しや宇宙服試着も

ットは貸し出しもあり、同会は「敷居を低くして、ゲーム感覚で科学の面白さを多くの子にも知らせたい」と参加を呼び掛けている。

競技は月面を想定し、ロボットがピンポン球を

29・30日、京で

扶んで線を基地まで走

化センター(同区)で行服(船外活動服)の試着や宇宙食などの展示もある。同会は理科の楽しさを、参加無料。ロボット貸与は五千円。二十三日京都大非常勤講師が始めにロボット作りの研修会が、左京区の東山中では、昨年十一月から同会員が放課後にロボット作りを指導している。二十日に(546)6034へ。